



白河二中だより

NO. 30
2024. 11. 22
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

多くの先生方と

本校の「自主研究学校公開」は、昭和55年度から全教科で授業を公開してきた長い歴史があります。本校卒業の保護者の皆さんも、たくさんの先生方に授業を参観されたという経験をした方が大勢いるのではないのでしょうか。現在は、白河市教育委員会の指定を受け、隔年で「学習指導法研究発表会」として授業を公開しており、今年度は、15日（金）、県南域内の多くの先生方に、授業参観と研究協議会に参加いただきました。

今年度の本校の研究のテーマは「学びに向かう力を育てるために～学びに向かう力の向上へとつなげるICTの効果的な活用のあり方Ⅲ～」です。一人一人がタブレットを持つようになり、授業の中で、いかに効果的に活用するかを研究し続けてきましたが、その成果もご覧いただきました。

プロジェクターが各教室に設置されたという恵まれた環境もあり、先生方はどんどん研究を深め、資料の提示、新聞等のまとめ学習、意見を共有する場面での活用など、多岐にわたった活用をし、県内においても先進的な取組をしている学校の一つとなっています。

また、参観された方々から、「子ども達の学びに向かう姿勢が素晴らしかった。レベルが高い!」「たくさんのつぶやきが聞かれました。」「そのつぶやきを拾う

先生方のコーディネートも見事でした。」などの嬉しい感想をいただきました。

今後も、今回の成果と反省を生かして、さらに、先生方の授業力を高めるとともに、子ども達一人一人の学力につなげることができるよう研修を深めていきたいと思えます。

廊下ですれ違う際も、「こんにちは」と誰に対してもあいさつをよく交わす白河二中学生の心の成長も、参観者の先生方の印象に残ったようです。

4 質の高い教育を
みんなに



新たな歴史を

令和8年度からの制服のあり方を、昨年度から検討してきました。

保護者の皆様も三者面談等で来校された際、校長室前に展示していた制服をご覧になったかと思いますが、検討委員会や生徒会の子ども達、教職員のの意見を聞きながら、「深緑」のブレザーを採用することとしました。子ども達にも10月末の朝の会で伝え、現在はボタンとエンブレムのデザインを募集しているところです。今後、応募のあったデザインを基に、新たな歴史を刻む本校オリジナルのデザインを決定していく予定です。

また、19日（火）には、メーカーさんとスラックス、スカート、ネクタイ、リボンなどの色合いやデザイン等を検討したところです。今後、生徒会役員等と検討を重ね、最終的な決定をしていきたいと思えますので、楽しみにお待ちください。

